

## 会 議 録

会議の名称	坂戸市立住吉学校 第2回学校運営協議会	
開催日時	令和5年10月25日(水) (開会) 9:30 (閉会) 11:20	
開催場所	坂戸市立住吉中学校 図書室	
出席者氏名(委員)	山崎英隆 関口豪 谷澤由加 桑原真澄 吉川和美 鏑木幸代 小室昭一 金井健治(校長) 田中正悟(教頭) 五十嵐晴彦(教務主任)	
欠席者氏名(委員)	なし	
議 題	(1)生徒の様子 (2)教職員の様子 (3)学校における諸課題と地域から見る学校の課題等	
協 議 等 要 旨	協 議 結 果	意 見 の 概 要
	生徒たちの授業の様子がとてもいい。授業中に突っ伏している生徒が一人もいない。4人グループでの生徒たちの授業の取り組み形がとてもよい。今後も推進を進めていただきたい。	「学びづくり」の説明を聞いて、目指しているものがとても良い。子供たちの未来を生き抜いていく力につながっていく。この取組は、生涯学習にもつながっていくように思う。住吉中学校は、とてもよい取組を行っている。
	住吉中の先生方の努力や頑張り、校長・教頭の話からもよくわかる。先生方は大変多忙な毎日を過ごしておられるが、子供たちのためにも、心身の健康に留意していただきたい。支援できることを支援していきたい。	先生方は、いろいろなものを背負いながら、子供たちに一生懸命に関わって教育活動を展開してくださっている。先生方の負担を少しでも減らせるよう、また先生方に余計な負担をかけないよう、家庭や地域も、先生方をもっと支えられるような理解や認識が必要である。
部活動の地域移行は、今後必要になってくる。地域の受け皿をどのように構築していくか。国や県、市等の行政が、人的、金銭的な課題や、スポーツを行える場所の構築等を、どれだけ本気になって進めていけるかが鍵。今のままでは、先生方の負担が大きすぎる。何とかできないものか。	地域移行をしていく段階で、中学生スポーツとして、スポーツを楽しむという観点で進められると良い。スポーツが好き、運動が好きというところを大事に、生涯スポーツにつながるように。中学で競技に燃え尽きる子供を出さないためにも、中学生で全国大会はいらない。せめて、県大会で終わる形でいいのではないか。勝利至上主義は、中学生には必要ではないと思う。	
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回学校運営協議会次第</li> <li>・教職員による学校評価中間報告</li> <li>・学校だより</li> </ul>	